

# 広島県感染症発生動向月報

[ 広島県感染症予防研究調査会 ]

(令和3年1月解析分)

## 1 今月のトピックス

### 今シーズン初めて、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生を確認！

令和3年1月、県内の高齢者施設において、今シーズン

(9月1日以降)初めて、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生が確認されました。また、その後も、保育所等において相次いで4件の集団発生が確認されています。

感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌などを原因として、下痢や嘔吐などの症状を引き起

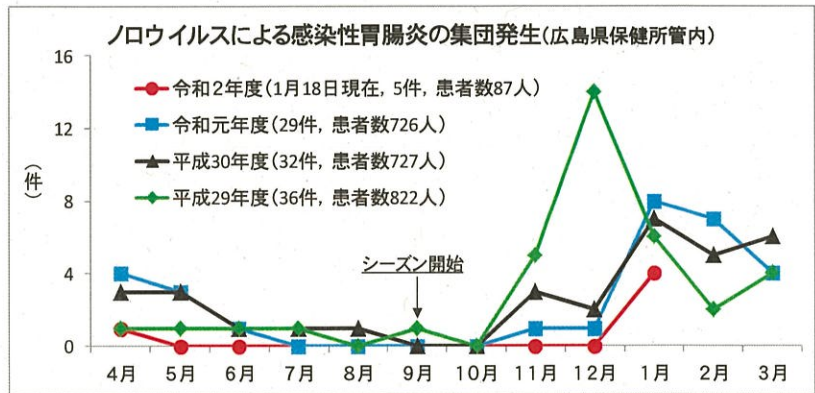
こす感染症で、ノロウイルスやロタウイルスによるものが冬場に流行しやすく、この時期は特に注意が必要です。

集団感染が起きやすい高齢者施設、保育所や幼稚園などでは、こまめな手洗い、食品の十分な加熱、次亜塩素酸ナトリウムによる適切な消毒など、感染の予防及び拡大防止対策を徹底するとともに、感染症または食中毒が疑われる事案が発生した場合は、速やかに保健所に連絡するようお願いいたします。



感染性胃腸炎 広島県

検索



### (参考) 次亜塩素酸ナトリウムによる消毒

#### 【消毒液の用途と作り方】

・次亜塩素酸ナトリウムは、市販の「家庭用塩素系漂白剤(濃度約5%)」に含まれています。

使用する場所・物	出来上がる消毒液の濃度	作り方
食器類 流し台 浴槽	200ppm (0.02%)	家庭用塩素系漂白剤 10ml (ペットボトルのキャップ 2杯分) + 水 2.5ℓ (500mlのペットボトル 5本分)
家具類 床	1,000ppm (0.1%)	家庭用塩素系漂白剤 10ml (ペットボトルのキャップ 2杯分) + 水 0.5ℓ (500mlのペットボトル 1本分)

※ 吐物や便等汚れが残っていると消毒効果が低下するため、汚れをよく除去してから使用するとともに、消毒液は、時間の経過とともに効果が落ちるため、その都度使い切ってください。

## 2 疾患別定点情報 【速報値】

### (1) 定点把握(週報)五類感染症

令和2年12月分(令和2年12月7日～令和3年1月4日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	7	0.02	8.48		10	ヘルパンギーナ	85	0.30	0.06	⇩
2	RSウイルス感染症	15	0.05	0.82	↑	11	流行性耳下腺炎	12	0.04	0.33	⇧
3	咽頭結膜熱	91	0.32	0.58	→	12	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	123	0.43	2.20	⇩	13	流行性角結膜炎	18	0.25	0.83	⇩
5	感染性胃腸炎	541	1.88	9.08	→	14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	水痘	37	0.13	0.42	⇩	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
7	手足口病	147	0.51	0.29	⇩	16	マイコプラズマ肺炎	5	0.06	0.28	
8	伝染性紅斑	1	0.00	0.38		17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	82	0.28	0.33	⇩	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.07	

### (2) 定点把握(月報)五類感染症

令和2年12月分(12月1日～12月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	68	2.96	2.18	→	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	70	3.33	3.70	→
20	性器ヘルペスウイルス感染症	21	0.91	0.88	⇩	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0.05	0.21	
21	尖圭コンジローマ	9	0.39	0.46		25	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.02	
22	淋菌感染症	26	1.13	0.73	⇩						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)  
 ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

#### 発生記号(前月と比較)

急増減	↑	⇩	1:2以上の増減
増減	⇧	⇩	1:1.5～2の増減
微増減	⇧	⇩	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

**急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)**  
 ○急増疾患 RSウイルス感染症(0.02 → 0.05)  
 ○急減疾患 なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

### 3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	32	結核(32)〔西部保健所(3),西部東保健所(1),東部保健所(5),広島市保健所(12),呉市保健所(1),福山市保健所(7),北部保健所(3)〕
三類	1	腸管出血性大腸菌(1)〔広島市保健所(1)〕
四類	22	E型肝炎(2)〔広島市保健所(1),福山市保健所(1)〕
		つつが虫病(7)〔西部保健所(1),広島市保健所(5),呉市保健所(1)〕
		レジオネラ症(2)〔広島市保健所(1),福山市保健所(1)〕
五類	29	重症熱性血小板減少症候群(1)〔呉市保健所(1)〕
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(5)〔西部保健所(1),西部東保健所(1),広島市保健所(1),呉市保健所(1),福山市保健所(1)〕
		急性脳炎(2)〔呉市保健所(2)〕
指定	2,522	梅毒(21)〔西部東保健所(1),東部保健所(1),広島市保健所(15),福山市保健所(4)〕
		百日咳(1)〔西部東保健所(1)〕
		新型コロナウイルス感染症(2,522)〔西部保健所(171),東部保健所(90),西部東保健所(106),北部保健所(12),広島市保健所(1,820),呉市保健所(112),福山市保健所(211)〕